



# 兵庫中央病院

vol.43

# 地域医療連携室だより

<https://hyogochuo.hosp.go.jp/>



## contents

ご挨拶

ハピネスプロジェクト

神経難病患者さんとそのご家族様の  
QOL向上のために

リハビリテーション入院を始め  
ました

当院のお食事について

訪問看護ステーションおおはら

「できる」をあきらめない  
チーム南2病棟

外来診療担当表



兵庫中央病院  
LINE公式アカウント

## 当院の基本理念

私たちは患者さんに真心のこもった良質で効率的なサイエンス・アート(科学・技と心)の医療の提供を目指します。

1. 私たちは、患者さんの基本的人権を尊重します。
2. 私たちは、質の高い政策医療を推進するとともに、地域医療に貢献します。
3. 私たちは、健康増進や予防医学へ積極的に参画します。
4. 私たちは、多様なニーズに対応できるよう日々研鑽し、医療の安全に努め、患者さんから愛される病院を目指します。
5. 私たちは、経営基盤を強化し、健全な病院経営を行います。

## ご挨拶



### 統括診療部長 富田 佳孝

「光の春」という言葉がありますが、寒さは続いているものの少しずつ日照時間が長くなり季節は進んでいるようです。

少し昔の話をさせてください。今はもうありませんが、かつて三田本町に祖父母の家がありました。鰻の寝床といわれる間口は狭く、奥行きは長いつくりの町屋で、家の中に土間や井戸があるような家でした。冬になると祖母が布団にあんか（練炭でした）を入れてくれたり、底冷えの朝の洗面は水が冷たいので洗面器にヤカンのお湯を足してくれたり、そんなことを思い出します。三田の街中には小さい水路が所々にあり、武庫川には階段を下りていくと石造りの洗濯場がありました。さすがに洗濯をしている人はもういませんでしたが、小魚をすくいに行ったりしたことも楽しい思い出です。今でも残っているのかわかりませんがプラモデル屋さん、銭湯、お肉屋さん、、、場所は忘れたけれどおいしい豆腐屋さんもあったかな。当時は福知山線もまだ単線でした。武田尾駅で上りと下りの列車の待ち合わせがあったり、急行に追い越されたり、のんびりした時代です。今はハイキングコースになりましたが、トンネルの合間に車窓から見下ろす溪流の景色はとてもきれいで、いつもワクワクして汽車に乗りました。時代が進んで三田の駅も立派になって、どんどん発展する三田の象徴のようです。

一方、城山の坂を上がっていくと有馬富士のふもとに当時は国立療養所がありました。当時の遺構はわずかに残る皇居の方向を示す石の台があるぐらいです。傷痍軍人さんなどが多いときは1500人ほどおられたそうです。それが今の兵庫中央病院となり現在に至っております。そんな私たちの病院は、人々のセーフティネットとなるべく、神経難病の方や筋ジストロフィー、結核などの患者さんに医療を提供する使命を持ち、日々の診療にあたっています。また地域の病院として皆さまに貢献できるよう、周辺の様々な施設の方々と連携して診療を続けていきたいと思っております。少しでも皆さまのお役に立つことができればうれしいかぎりです。



思いつくままに取り留めのないことを書きましたが、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## ハピネスプロジェクト ～神経難病患者さんとそのご家族様のQOL向上のために～

### 脳神経内科 坂下 建人

当院では2022年よりハピネスプロジェクトという取り組みを続けております。ハピネスプロジェクトとは患者さん、そのご家族様、職員、兵庫中央病院に関係するすべての方のHappyにつながるイベントを企画するプロジェクトです。

料理人やパティシエに依頼し、普段病院食では食べることのできない嚥下食を創作していただいたり、クラシックギターコンサートを開いたり、神経難病患者さんとともにゴルフを行ったり、様々な取り組みを行っております。ハピネスプロジェクトでは更に、**長期入院患者さんの外出支援**も行っております。長期入院の患者さんはADLが低下しており、外出することが難しい場合があります。特に気管切開をされている患者さん、人工呼吸器を装着しておられる患者さん、頻回の吸引が必要な患者さんは、ご家族様だけのサポートでの外出はかなりハードルが高くなります。そのような患者さんに対して、当院では**医師と看護師が、希望される場所への外出に付き添うサービス**を行っております。行程中は必要に応じて医療的な処置（例えば吸引など）を医療者が行います。外出先でも痰吸引できるよう簡易吸引器を携行し、もしもの場合に備えて交換用の気管カニューレや膀胱留置カテーテル、急変時の救急セットなどを準備して待機しております。ご家族水入らずの環境をできるだけ作れるよう配慮しながらサポートを行っております。2024年から2026年1月末時点で、のべ7回の外出支援を行うことができました。



『一度でよいかから自宅に戻りたい』『昔よく歩いた公園を散歩したい』『お花見をしたい』等のご希望に対して、予後が短いと予想される患者さんであっても、万全の体制を整えて、できる限りお手伝いしたいと考えております。ご自宅



への外出だけでなく、小旅行などご提案があれば検討いたします。“**長期入院となってもできるだけ多くのHappyを作っていく**”。当院でしかできないサービスを提供したいと考えております。昨今の厳しい医療情勢のもとですので、すべての患者さんのご希望に沿えるわけではありませんが、今後も同様のペースで患者さんやご家族様に喜んでいただけるように続けて参ります。

ハピネスプロジェクトにつきましてご質問等ございましたら、お気軽に地域医療連携室までご連絡ください。

## リハビリテーション入院を始めました

リハビリテーション科 主任理学療法士 高田 裕斗

**当**院では多くの患者さんから「入院で専門的なリハビリを受けてみたい」、「短期集中的にリハビリをして動きをよくしたい」というご要望を受けておりました。患者さんのご要望に応えるべく、当院では令和7年度よりリハビリテーション入院を開始しました。詳細は下記に記載いたします。

### 対象

- 当院主治医がリハビリを必要と判断し、それを希望される患者
- 自宅に退院される患者



### 主な疾患

- **神経難病（パーキンソン病・進行性核上性麻痺・脊髄小脳変性症など）**
- **整形外科疾患（廃用症候群）**

### リハビリ入院概要

- 入院期間：3週間まで
- リハビリ提供職種：理学療法・作業療法・言語聴覚療法
- リハビリ提供頻度：月～土曜・祝日 ※土曜日のみ言語聴覚療法は未実施

### 当科の強み

- **神経難病のリハビリに精通したスタッフが多く在籍**
- 整形外科疾患や内部障害を呈する疾患のリハビリにも力を入れている
- 多職種との密な連携はもちろんのこと、院内の訪問看護ステーションとも連携を取り、地域医療の貢献にも努めている

### お問い合わせ ・ご紹介

神経難病の中でも**パーキンソン病**や**脊髄小脳変性症**はガイドラインで短期集中リハビリの有効性が示されています。日常生活上の動きで悩んでいる患者さんがおられましたらご紹介ください！お問い合わせ・ご紹介は**地域医療連携室**までお願いいたします。

## 当院のお食事について

栄養管理室 國安 里衣

**当**院では、特に食事療養が必要でない方を対象とした常食で、昼食と夕食を2種類のメニューから選んでいただける「選択メニュー」を実施しています。メニューには麺類や丼、サンドウィッチ等を積極的に取り入れ、患者さんに満足いただける食事提供に努めています。

A 食



- 米飯
- シルバーの胡麻焼き 付け合わせ きのこんてー
- 揚げ茄子の煮物 ● 白菜のお浸し
- 果物 (パイナップル)

B 食



- ラーメン
- 揚げ茄子の煮物 ● 白菜のお浸し
- 果物 (パイナップル)

また、入院中でも季節の移り変わりを感じていただけるよう、月に1~2回程度行事食を提供しています。

行事食では、旬の食材や季節のイベントに合わせたメニューを取り入れ、普段の食事とは異なる雰囲気を感じていただけるよう工夫しています。

### 2月 節分の日

- 巻き寿司 ● メバル煮付け ● 炊き合わせ
- 小松菜の辛子和え ● 節分豆



### 2月行事食 (例)



## 訪問看護ステーションおおはら



訪問看護ステーションおおはら

管理者 看護師長 田中 知子

私たちは“地域の安心拠点”となるよう利用者・家族の意思を尊重した  
良質な訪問看護を提供します

兵庫中央病院訪問看護ステーションおおはらは、開設して10年を迎えます。地域に暮らす皆さまが「住み慣れた家で、その人らしい生活を続けたい」という思いを叶えるため、病気や障がいを抱えながら在宅療養を希望される方に、専門的な看護ケアとリハビリテーションを実施し、安心と信頼の訪問看護サービスを提供しています。理学療法士による訪問リハビリテーションは2022年11月より開始以降、利用者様からも大変ご好評をいただいております。



兵庫中央病院はセーフティーネット系医療（神経・筋難病、筋ジストロフィー、重症心身障がい、結核など）を中心に、認知症疾患医療センター、消化器センター、糖尿病センター、物忘れ外来、肥満外来なども実施しています。当ステーションご利用の方の**34%が神経難病の疾患**、**22%が糖尿病疾患**、**10%が認知症疾患**であり、日々の日常生活動作の確認や指導、服薬指導や身体援助を行っています。病院併設の訪問看護ステーションだからこそ、院内の多職種との連携を取り、ケアマネージャーなど関係機関とも密に連携し、看護、服薬支援、リハビリテーション、褥瘡予防、終末期ケアなど幅広いサービスに対応しています。また24時間緊急時にも対応できる体制を整え、利用者様とご家族様に「もしもの時も安心」という心強さを感じていただけます。

当ステーションのスタッフは、経験豊富な看護師が中心で、医療的な知識と技術はもちろん、コミュニケーションを大切にし、利用者様とご家族様の不安や悩みに寄り添います。療養生活の質を高めるため、心身のケアを総合的にサポートし、笑顔で過ごせる毎日を目指します。地域に根ざしたサービスを通じて、「ここに頼んでよかった」と思ってもらえる存在であり続けることが私たちの使命です。利用者の皆さまの安心と笑顔を、私たちが全力で支えます。

訪問看護に関するご相談やご質問は、どうぞお気軽にお問い合わせください。

訪問看護ステーションおおはら

TEL : 079-563-2132(内線 787)

受付 : 平日9:00~17:00

病棟  
紹介

## 「できる」をあきらめないチーム南2病棟

## 南2階病棟看護師長 中山 とし美

**南2**病棟には、主に神経難病の患者さんが入院されています。パーキンソン症状を呈する患者さんは約30名おられ、疾患の内訳は**パーキンソン病、多系統萎縮症、進行性核上性麻痺**などです。その他、**脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症**の患者さんや、**神経難病以外の糖尿病、脳血管障害、誤嚥性肺炎**などの患者さんも入院されています。

当病棟では長期療養を目的とした入院が多い一方で、ご本人・ご家族の思いに寄り添いながら、在宅主治医の先生方のご協力を得て、当院の訪問看護ステーション「おおはら」や他の訪問看護ステーションと連携し、在宅移行や在宅看取りにも取り組んでいます。退院の日に見せてくださる患者さん・ご家族の笑顔は、私たちにとって何よりの励みです。

パーキンソン病をはじめとする神経難病は、病状の進行により日常生活動作が徐々に制限されていきます。当病棟では、服薬管理や環境調整、日常生活援助についてリハビリテーション科と連携し、患者さん一人ひとりの状態に応じた支援を行っています。病状が進行しても、患者さんご自身が生き方を選択できるよう、「**自分らしく生きる権利を守る医療**」を医師等、多職種とともに実践しています。

医療面では南2病棟の病棟医長である脳神経内科医の西本医長が、嚥下障害に精通しており、嚥下障害が進行した患者さんに対して医学的評価と管理を行いながら、「**最後まで口から食べる**」ことを多職種で支えています。リスク管理と安全な嚥下の両立は容易ではありませんが、患者さんやご家族の「うれしい」「食べられてよかった」という思いを大切にしながら、医療と生活の両立を支援しています。

院内には複数の認定看護師が在籍しています。私は皮膚・排泄ケア認定看護師です。神経難病患者さんの排泄ケアに対してスタッフとともに「**気持ちのよい排泄**」を目標に取り組んでいます。今後も安心して患者さんをご紹介いただける病棟でありたいと考えております。



# 外来診療担当表 (配布用)

: 内科初診

診療科	診察室	月	火	水	木	金	
内科・消化器内科	2F ⑰	里中 和廣	里中 和廣	—	光永 眞貴	石橋 莉永	
	2F ⑱	三田 敬二	生天目 侑子	三田 敬二	三田 敬二	三田 敬二	
	2F ⑮	光永 眞貴	石橋 莉永	安藤 稔	—	安藤 稔	
内科・糖尿病内科	2F ⑲	福永 みちる	鴻山 訓一	鴻山 訓一	福永 みちる	鴻山 訓一	
	2F ⑳	加藤 美有紀 (2・4週のみ) 大野 祐香 (第1・3・5週)	福永 みちる	島津 浩史	鴻山 訓一	大野 祐香	
	2F ㉑	蓑原 達郎	宮部 祥花	蓑原 達郎	島津 浩史	宮部 祥花	
結核内科 内科・骨粗鬆症	1F ⑩	藤川 健弥	高木 康行	—	高木 康行	藤川 健弥	
脳神経内科	1F ④	河本 邦彦	二村 直伸	三谷 真紀	河本 邦彦	山崎 浩	
	1F ⑤	西本 啓介	三谷 真紀	二村 直伸	西本 啓介	安藤 竜起	
	1F ⑦	坂下 建人	山崎 浩	安藤 竜起	山形 大志	西田 勝也	
	1F ⑧	足立 洋	山形 大志	北 峻志	北 峻志	佐々木 絢子	
	1F ⑨	佐々木 絢子	西田 勝也	坂下 建人	足立 洋	金星 匡人 (2・4週)	
脳神経内科・消化器外科	2F ⑫	陣内 研二	—	中村 吉貴	陣内 研二	舟川 格 (第1・3・5週)	
消化器外科	2F ⑬	藤原 英利	—	藤原 英利	—	中村 吉貴	
呼吸器外科・内科(予約のみ)	2F ⑭		片上 信之 (予約のみ)		—	宮本 良文 (第2週)(予約のみ)	
循環器内科	2F ⑭	担当医(非常勤) (循内)		担当医(非常勤) (循内)	—		
整形外科	1F ②	富田 佳孝	富田 佳孝	井上 諒真	(手術日)	井上 諒真	
予約制	ものわすれ外来 (13:00～15:00)	1F ⑤		(第1・3・5週)山崎 (第2・4週)西田	(第1・2・4・5週)安藤竜 (第3週)坂下		
	頭痛外来 (14:00～16:00)	1F ⑤			二村 直伸 (第2・4週)		
	筋ジス外来 (14:00～15:30)	1F ⑤			三谷 真紀 (第1・3・5週)		
	胆石・ヘルニア・静脈瘤外来 (13:30～15:00)	2F ⑬	藤原 英利 (毎週)				
	ヘルニア・肛門外来 (13:30～15:00)	2F ⑬			中村 吉貴 (毎週)	中村 吉貴 (毎週)	
	1型糖尿病・ 糖尿病肥満外来 (13:30～15:00)	2F ㉑		1型糖尿病外来 (担当医)	肥満外来 (担当医)		
特定健康診査						毎週 14:00～	
予約検査処置	午 前		胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡	胃内視鏡	
			心・腹部エコー ※アンギオ(神大)	心・腹部エコー	心・腹部エコー	心・腹部エコー	心・腹部エコー
	午 後		大腸内視鏡	大腸内視鏡	大腸内視鏡	大腸内視鏡	
				ERCP	ERCP		

**受付時間** 8:30～11:00 (ご予約の場合 ～17:00)

**初診の患者様へ** 初めて受診される場合は、玄関を入られて左側の受付カウンターにお越し下さい。

**電話での予約受付について**

電話での予約受付時間は、平日12:00～16:00になります。予約のキャンセルまたは変更がありましたら、前日の上記時間帯までにご連絡お願いいたします(午前中は診察中につき、避けていただきますようお願いいたします)。

**担当医師の変更について**

諸事情により、上記の担当医師が変更となる場合があります。変更予定は、掲示板にお知らせしておりますので、ご確認ください。

**再診の患者様へ**

● **ご予約の場合**

正面玄関受付カウンター前の再診受付機にて、診察券を投入の上、ご予約の診療科の受付をしてください。

診察は概ねご予約時間の30分以内を予定しておりますが、当日の診察のすすみ具合により遅れる場合もございますので、予めご了承ください。

● **ご予約されていない場合**

正面玄関受付カウンター前の再診受付機にて、診察券を投入の上、ご希望の診療科を選択してください(受診中の診療科のみ選択可能)。

診察券がない場合は、その旨お申し出ください。なお、前回の診察から3ヶ月以上経過している場合は初診となります(ご予約の場合を除く)。

**お知らせ** 地域医療連携室の外来予約受付時間は下記の通りです。今後ともますますのご利用をお願いいたします。

- 受付時間：平日 8:30～19:00 (木曜は17:15まで)
- 内 容：診察予約・画像等検査予約
- 連絡先：TEL 079-563-2121 (代表) 0120-62-2125 (専用電話)  
FAX 079-563-4646 (地域医療連携室直通)

兵庫中央病院  
地域医療連携室

